

# 住民のため の市政を！！

# こうつ民報

日本共産党江津市委員会  
電話 52-2633  
FAX 52-7244  
NO. 2417  
2020年9月20日

**建設政策課長** 流域住民へ治水事業についての説明会を実施し、国土交通省にも住民の声を直接聞くよう求めていた。

**多田** 開催時期は。

**建設政策課長** 早期開催へ調整中だが、国交省と江津市の共催とするため、時期は確定していない。

**多田** 今回被災した地域・世帯が優先されるが、将来的には流域の浸水想定区域へも、こういった対

**多田** 度重なる被害から、被災者には行政への不信感がある。それを払拭するため、現状の治水計画での堤防・宅地かさ上げの見通し、その際に各世帯ごとの補償・負担などを市として調査・把握し、それを各世帯へ説明・周知することを求める。

築堤・かさ上げ・  
国へ対応を求めよ

8日に日本共産党江津市議団の多田伸治市議が行つた一般質問から、7月の豪雨災害に関連して「防災対策」と「被災家屋の解体補助」についてお伝えします。

# 多田伸治市議の一般質問②

## 暫定堤防とは？

完成前の本来より低く小さい堤防。堤防は完成までに多大な時間・費用が必要となるため、途中段階で築堤が止まった状態のものを指します。渡津町の堤防が暫定堤防です。

多田 世帯ごとに将来の可能性・選択肢を知つておくべき。説明会だけではなく、各世帯への説明を建設政策課長 国交省の共催で、今回被災者と無堤地区への説明会を実施し、その次に

**建設政策課長**　説明会は、無堤地区と浸水被害を受けていた人を対象に、2カ所程度での開催を考えている。暫定堤防があるものの、水想定区域となつていて、地域は対象と考えていったが、説明会への参加はない。

応は可能か。

多田 各世帯の状況を把

転補償による住民負担の軽減など、実情に即した制度運用について、国交省と協議中。江の川治水対策を進め、安全・安心の確保へ向け、住民・市議会と一緒に取り組みたい。

**建設政策課長** 防災集団  
移転促進事業の活用が考  
えられる。活用に向け、  
多くは良吉の愛用多

は条件がある。世帯ごとに条件を満たす方法、あるいはどうしても条件を満たせない世帯の調査・把握を求める。

## 市民生活課長 制度は変

多田 環境省は2年前も  
住民の意向を確認した上で  
解体すれば対象になる  
との条件を示していた。  
判断が変わった説明には  
ならないのではないか。

**市民生活課長** 環境省の職員が本市を訪れ、制度の説明があり、被災者が解体の意向を示せば、制度の対象となるとの見解が示された。

**多田** 2年前、江津市では環境省が設けた半壊以上の被災家屋の解体を全額公費で補助する制度を活用しなかつたが、今回災害では、活用を表明している。被災者支援として前向きな対応だが、同じ制度でなぜ2年前と判断が異なるのか。

なせ2日前は活用

## 今回の災害パッケージで

支援は年々拡充されており、昨年の台風15・19号の被害を受けての内閣府の災害対策パッケージで初めて盛り込まれた「解体支援」という文字が、

副市長 2年前、岡山県・  
広島県では説明会があつたが、島根県では行われなかつた。しかし、今回は環境省が本市に来て謹明をした。また、被災者

**多田** 制度そのものは変わっていない。しかも、2年前に本市では被災者への意向調査もしていなかった。本来、受けられたはずの支援が受けられなかつたことになるが、最終的な判断をしたのは、市長・副市长・危機管理監・市民生活課長の誰か。

さかなくわのなか

## 悩み・困りごと ご相談ください

森川よしひで  
090-7379-1554  
多田伸治

多田伸治 090-6014-2259

## 森川よしひで市議の一般質問②

9月議会

共産党江津市議団の森川よしひで市議が「高齢者へのエアコン助成」「インフルエンザ予防接種の補助」を取り上げました。

### 森川 高齢者へエアコン設置費・電気代補助を答弁 熱中症予防対策の周知徹底で対応する

エアコンあつても  
電気代が：

森川 猛暑が続き熱中症が心配される状況で、エアコンがない、あつても電気代負担のため使用を控える高

齢者もいるが、市内のエアコン設置状況は。

高齢者障がい者福祉課長 調査・把握はしていないが、内閣府による3月の消費動向調査では、全国の普及率は88・6%、中・四国では93%となっている。

森川 高齢者の熱中症対策として、エアコン設置・電

気代への支援が有効と考えるが、対応できないか。

高齢者障がい者福祉課長 設置費用や電気代を補助している自治体もあるが、現在のところ本市では考えていない。まずは熱中症予防対策の周知徹底で対応した

### 森川 コロナとの同時流行回避へ接種費用補助を答弁 市民全てに提供は困難、高齢者へ対応する

インフルエンザの流行期を前に

インフルエンザの流行期を前に

森川 コロナ禍が終息しないまま、インフルエンザの流行期に入る。コロナとインフルの同時流行を防ぐため、季節性インフルエンザ

の予防接種が欠かせない。浜田市は全市民を対象に接種費用の一部を助成する。市民から同様の取り組みを求める声がある。近隣市町村の補助状況は。

健康医療対策課長 近隣各市では、高齢者の生活保護受給者については接種費用の全額を補助し、それ以外の高齢者には一部自己負担で残額を補助している。本市では高齢者について、生活保護受給者と福祉医療受給者の市民税非課税世帯の方には全額を補助し、その他の高齢者には一部自己負担で残額を補助している。

全国では、今年も熱中症により亡くなる方が出ています。市民の命を守るために、積極的な取り組みが必要です。

健康医療対策課長 インフルエンザワクチンの需要増が予測されるなか、厚生労働省による供給見込みでは、全ての人にワクチン提供は困難な状況。接種希望者の殺到による医療現場の混亂を避けるため、重症化リスクの高い高齢者へ優先的に接種できる環境づくりが重要であり、予防接種への補助は従来どおりとしたい。流行防止は、今まで以上に手洗いの励行、飛沫感染防止のためのマスク着用、3密の回避などの徹底を市民にお願いしたい。

## 全戦没者追悼へ平和の鐘

9月18日、浄土真宗本願寺派は東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で、本願寺門主が出席する全戦没者追悼法要を行います。

この墓苑は、軍人・軍属・一般国民など戦争で犠牲となつた身元不明の遺骨(2019年5月時点で37万69柱)が納めてある『無名戦没者の墓』だけでなく、日本が15年間続けた戦争で犠牲となつた全ての人々の慰靈追悼施設という性格も

指示も出され、宗祖・親鸞聖人の文書から天皇批判に立てる部分を削除しました。戦後、一連の行為を反省して、1981年から毎年9月18日にこの墓苑で追悼法要を行い、1995年4月には「宗祖の教えに背き、歴史があります。戦時中の

鐘もない時代でした。仏祖・釈迦如来は「兵矛が無用(武器を用いない)」といふ教えを説き、「殺すな」「盗むな」「嘘を言うな」など、社会的な規範を示されました。戦争はこれら全てを踏みにじる人間がなしうる最悪の所業です。

日本国憲法第9条は、戦争から平和への道筋を示した国民の宝です。「あれは理想。現実は厳しい」との口実で、憲法9条改悪・アメリカ盲従・軍備拡大を推進し、歴史の教訓に学ばない政治家には、選挙で厳しい審判を下しましょう。

森川 日本感染症学会が、この冬のコロナとインフルの同時流行を予測の通り、コロナとの混同を避ける

ため、インフルエンザワクチン接種を強く推奨しています。新型コロナウイルス感染拡大への対策として、インフルエンザ予防接種を受けてもらうことが必要。市民へのインフルエンザ予防接種費用の補助を求める。

15	15	14	14	13	13	12	11	8
日	日	日	日	日	日	日	日	日
三	大	中	北	中	横	井	今	近
本	家	野	田	下	井	重	上	
松	千	浦	静	晴	善	信	也	
洋	晃	子	博	子	美	文	治	
(89)	(62)	(92)	(90)	(90)	(84)	(70)	(88)	(52)
和	木	江	波	浅	二	桜	久	志
木	町	小	利	宮	宮	江	江	町
町	田	町	町	町	町	町	町	町

お悔やみ申しあげます  
(敬称略)